

23 Stating conditions (ある条件での行動を言う)

アクティビティー名：「もしも・もしも」

絵を用いて、ある条件での行動を言う活動。

- 1) 天気絵と、行動絵を提示し、それぞれ発音を確認する。

天気絵：fine「太陽」、cloudy「雲」、rain「雨」、snow「雪」、cold「凍える絵」、hot「汗をかいている絵」

行動絵：go on a picnic「ピクニック」、go swimming「海で泳ぐ絵」、go skiing「スキーの絵」、go for a walk「犬と散歩する絵」、read a book at home「室内で本を読む絵」、eat *oden*「熱いおでんをほおばる絵」、read comics「マンガを読む」、play video games「テレビゲームをする」、watch TV「テレビを見る」、play soccer「サッカーをする」、play with friends「友達と遊ぶ」、go to an amusement park「遊園地に行く」、go to a zoo「動物園に行く」、study「勉強する」、do my homework「宿題をする」など。

注意：

fine(天気が良い)、cloudy(曇っている)などは形容詞です。そこで、文の語順は “If it is fine/cloudy, ~.” となり、この場合は be 動詞が必要です。一方、rain(雨が降る)、snow(雪が降る)などは動詞です。文の語順は “If it rains/snows, ~.” となり、be 動詞は要りません。その代わりに、3 人称単数現在の主語に対応するため、動詞の語末に s をつけ rains, snows とするのです。

- 2) 教師は、“If it's fine on Sunday, I'll(=I will) go on a picnic.” と自分について述べる。

ピクニック絵を太陽絵の下に貼り付ける。そして、生徒に “What do you want to do if it's fine on Sunday, A(生徒の名)?” と聞く。生徒は “If it's fine, I'll(=I will) go for a walk.” などと答える。

- 3) 生徒に天気絵と行動絵を配り、ペアやグループで上と同じ活動を行わせる。行動絵をさらに増やすとさらに良い。たとえば、学校近くの店や公園、遊園地などの名前を挙げるなど。

例：

教師) If it's fine on Sunday, I'll(=I will) go for a walk. What do you want to do if it's fine on Sunday, class?

生徒 A) Go on a picnic.

教師) Good. Repeat after me. If it's fine on Sunday, A will go on a picnic.

生徒全員) If it's fine on Sunday, A will go on a picnic.

教師) Very good. Then, what do you want to do if it rains on Sunday, class?

生徒 B) Read a book at home.

教師) That's a good idea. Repeat after me. If it rains on Sunday, B will read a book at home.

生徒全員) If it rains on Sunday, B will read a book at home.

教師) もし日曜日に天気良かったら私は散歩に行きます。皆さん、日曜日に天気が良かったら何をしますか。

生徒 A) ピクニックに行く。

教師) いいですね。繰り返してね。もし日曜日に天気良かったら Aさんはピクニックに行きます。

生徒全員) もし日曜日に天気良かったら Aさんはピクニックに行きます。

教師) よくできました。それでは、もし日曜日が雨だったら皆さん何をしますか。

生徒 B) 家で本を読むよ。

教師) それはグッドアイデアだね。繰り返そう。もし日曜日雨だったら B君は家で本を読みます。

生徒全員) もし日曜日雨だったら B君は家で本を読みます。